

【ATC フィロソフィ①】

こんにちは。アーケテックコム株式会社 (ATC) で、翻訳とマニュアル作成を行っています。豊原 信です。



ウェブサイト：

<https://arc-tec-com.com>

Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail : m.toyohara@arcteccom.jp

「考え方」で決まる

今月は、弊社のフィロソフィの紹介と、恒例の「応援メッセージ」をお送りします。

京セラフィロソフィを基にした、私達のオリジナルなフィロソフィを4年前からコツコツと作ってきました。224ページ、200項目からなる、正直言いました大作ができあがりました。フィロソフィの目的は、「素晴らしい人生を送るにはどうするか」、「素晴らしい経営をするにはどうするか」の2点を実践したいという一念からです。それでは、紹介します。

「ATC フィロソフィ」の使い方

今後ずっと経営をしていく上で必要となる哲学、「ATCフィロソフィ」を全従業員と共に学び実践していきます。そのことこそが、将来のATCを築き上げていくと考えています。

プリミティブな倫理観が、私たちの人生観、または哲学というものをつくっていくのです。例えばすべての雑念を払い、ひとつのことに打ち込んでいる状態のときに、人生観のようなものが自分の中につくられていきます。このプリミティブな倫理観をベースに考えた人生観、あるいはフィロソフ

ィというものが非常に大事になってきます。自分の人生も、ATCという会社の未来も、自分が心に抱く考え方・人生観、あるいは哲学といったもので決まるのではないか、と思っています。

従業員をひとつにまとめるには 経営者自身の「考え方」を磨き 続けなければならない

経営のトップは、従業員をまとめていかなければなりません。全従業員が生活できるように経営をしていかなければならないのです。どのように従業員の心を掌握してひとつにまとめていくかが課題です。

第1番目は、一緒に遊ぶことです。野球でも、ハイキングでも、コンパでもなんでもいいから一緒に遊んで、一体感を持つようにします。

第2番目は、一緒に遊び、一緒に付き合い、一緒にビールを飲みながら、会社の使命や目的を従業員に伝えるのです。経営の使命や行動指針やフィロソフィを伝えることで、「うちの経営者は尊敬に値する」という思いを芽生えさせなくてはなりません。これが本当に強い集団を作る基になるのです。

そのために、経営者自身が立派な考え方や人生観というものを持っていなければ、決して従業員を惹きつけることはできません。だから、自身の考え方・人生観・哲学というものを磨いていかなければいけないのです。

また、個人の人生についても、考え方や人生観、あるいは哲学というものに左右されます。そのためにもこのフィロソフィというものを大事にして活用することです。

「考え方」こそが人生を大きく 左右する

人生・仕事の結果=
考え方×熱意×能力

人生や仕事の結果というものは、「考え方×熱意×能力」という方程式で決まると考えられます。

「能力」は、生まれながらに与えられたものです。大抵「能力」の高い人は、横着をして手抜きをするようになっていきます。ところが、「能力」のあまり高くない人は、誰にも負けない努力をするという「熱意」を持ちます。自分の気の持ちようでいかようにもなるのです。この方程式によれば、「能力」と「熱意」を、足し算ではなく掛け算で計算するわけですか

ら、「能力」は多少劣っても、ものすごい「熱意」を持った人の方がすばらしい結果を残すことができることになります。

例えば、「能力」80の人の「熱意」を10とすると、その積は800です。一方、「能力」40の人が90の「熱意」を持っているとするなら、その積は3,600となるのです。足し算で考えると、その差はわずかですが、掛け算で計算するとその差は大きく開きます。これに、「考え方」が掛かってきます。「考え方」には、マイナス100からプラス100まであります。極端な例ですが、「世の中は所詮、矛盾だらけで不公平なのだ。だから自分は泥棒稼業で生きていこう」と考えたとすれば、これはマイナス思考をしているわけですから、たとえ能力と熱意が100あっても、考え方がマイナス10とすると、その積はマイナス10万ということになります。つまり、「考え方」がネガティブだと、結果は必ずマイナスになるのです。

また世間にはよく、いい学校を出て、また決してそんなに怠け者でもないのに、業績が上らない、会社がうまくいかない、人生がうまくいかないという人がいます。多分それは、「考え方」が少しマイナスだからなのです。考え方が少しマイナスであっても、掛け算をすると結果は全部マイナスになるのです。「あの人は少し人間性に問題がある」と言われても、その評価は全体からみれば少ししか響かないというのではありません。すべてマイナスになってしまうのです。

一方、「あの人は学校も出ていな

いし、大した教養もない。だけど仕事熱心で、人柄もいい」という人が立派な会社を経営しているというケースはいくらでもあります。それはなぜか、多くの方が、たいしたことはないと思っても、「考え方」というものが大きな影響を及ぼしているに違いないと思われれます。ですから、「考え方」こそ、立派なものにすべきだと言えます。

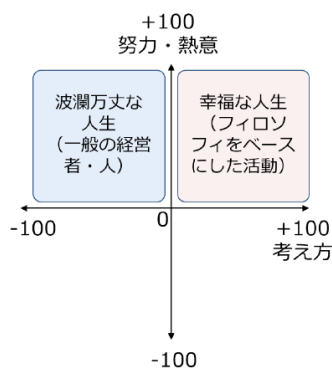


図1. 幸福な人生と波瀾万丈の人生

「考え方」と「努力・熱意」がプラスの右上の領域で活動するように、常に有意注意して実践します。

4月号に続きます。

3月の応援メッセージです。

問題にぶつかった時のいい解決方法は、視点を高めること。心を高めることにあります。

信号の無い交差点に双方の車が自分勝手に突っ込めば必ず事故になります。

事故を回避する方法は、譲り合い相手を先に行かせる配慮をすること。

もっといい方法は、交差点を立体交差にすること。

譲り合い相手を優先するというのは「あなたもよくなれ、わたしもよくなれ」という思い。

交差点を立体交差に作り替えることは「みんなよくなれ」という思い。

あなたの周りに起きる問題を「あなたもよくなれ、わたしもよくなれ」という視点から解決方法を探してみる。

さらに「みんなよくなれ」という視点から探してみる。

きっといい解決方法が見つかるはずですよ。

あなた自身の心の有り方で、問題が解決されるとは、なんと素晴らしい事でしょう。

そのような解決方法を探すということ自体が、心を高めることになります。

あなたがさらに素晴らしい人になっていくことを意味します。

問題にぶつかった時に、「自分に何が出来るか」と自分事として捉えること。

「あなたもよくなれ、わたしもよくなれ、みんなよくなれ」と思うこと。

こうして問題解決をするだけでなく、心を高める。

そうすると、心が高まったあなたには、同じレベルの問題は、無くなってしまいます。

豊原 信